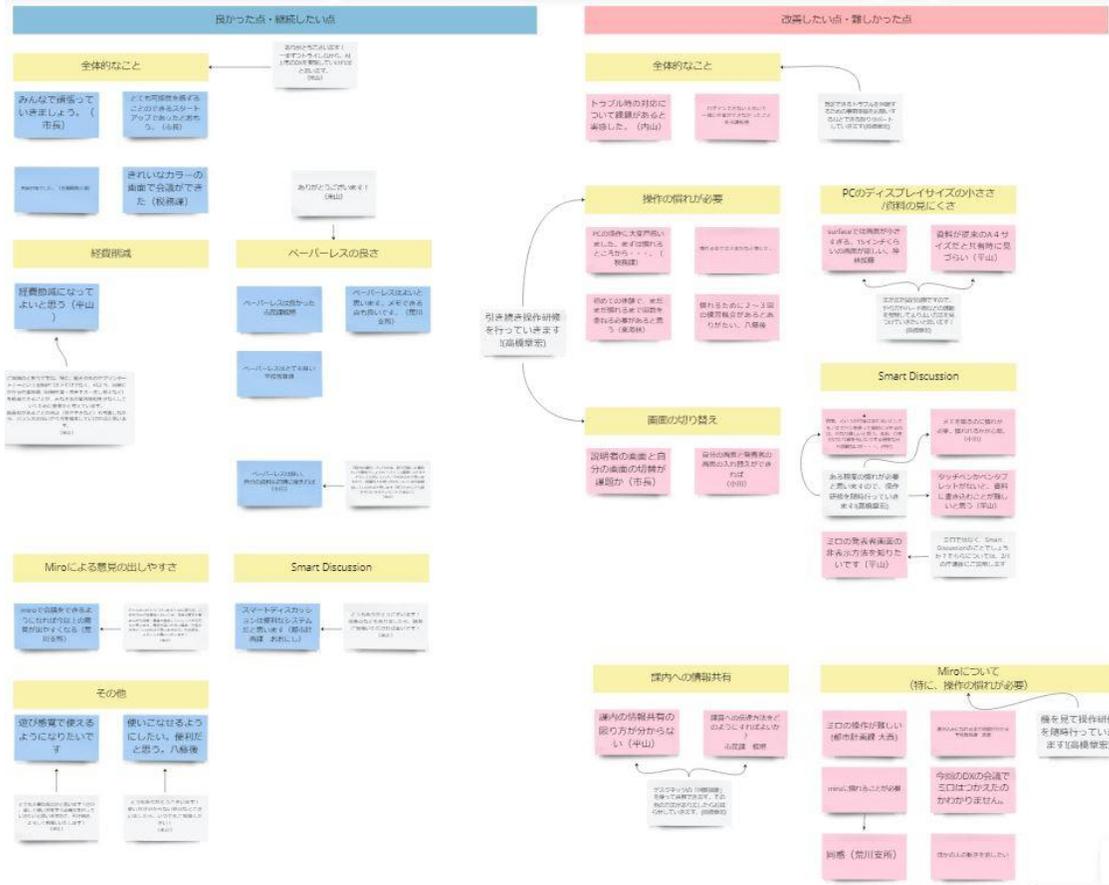


第6回 村上市DX推進本部会議

2023(R5).3.17

前回(1月18日)のふりかえり



ペーパーレス会議の実施

1 良かった点

(1) 全体的なこと

- ・とても可能性を感じるスタートアップだった。
- ・きれいなカラーの画面で会議ができた。

(2) 経費削減

- ・経費削減になってよいと思う。

(3) ペーパーレスの良さ

- ・ペーパーレスはよかった。メモできる点もよい。

(4) Miro・Smart Discussionについて

- ・Miroで会議ができるようになれば、今以上の意見が出るようになる。
- ・便利なシステムだと思う。

(5) その他

- ・遊び感覚で使えるようになりたい。

2 改善したい点

(1) トラブル対応

- ・想定できるトラブルを回避するための事前準備をお願いするなど会議がスムーズに進むようサポートしていきます。

(2) 操作の慣れ

- ・Miro、Smart Discussionとも、引き続きPC操作研修を行っていきます。

(3) ディスプレイが小さい

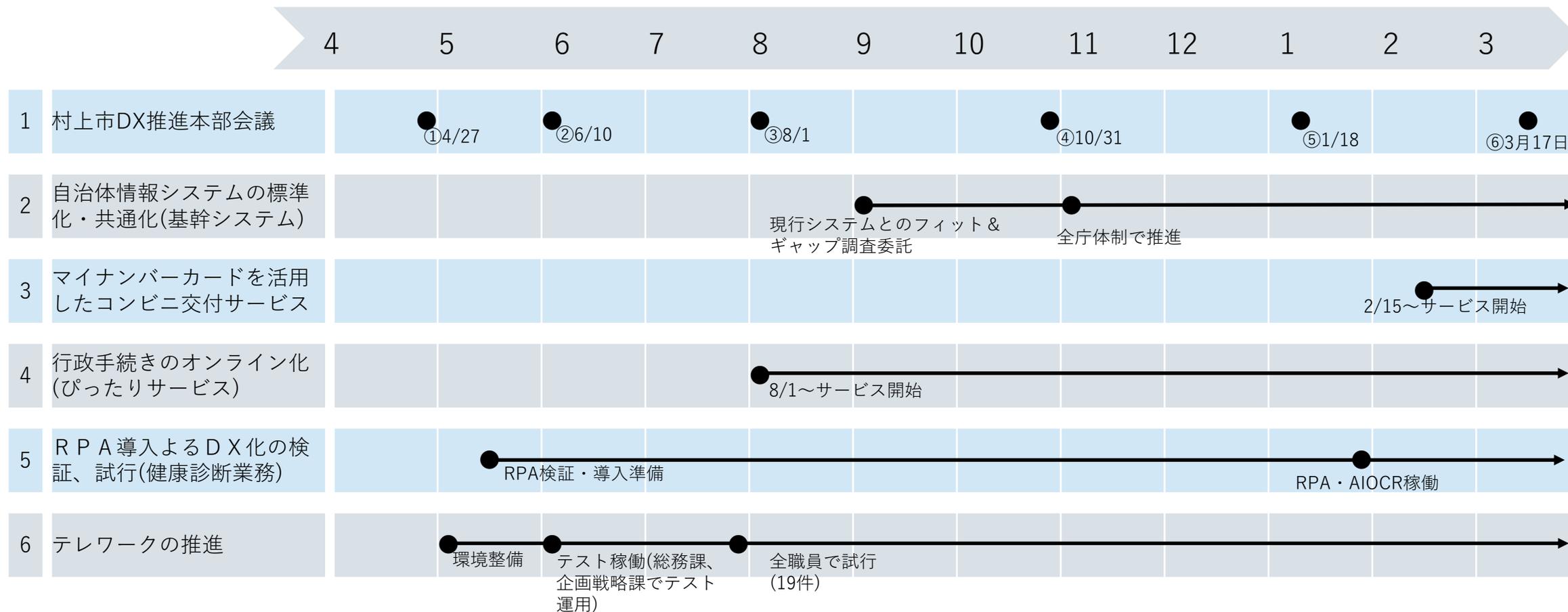
- ・まだまだ試行段階ですので、やり方やハード面などの課題を整理してよりよい方法を見つけていきたいと思っています。

(4) 課内への共有方法

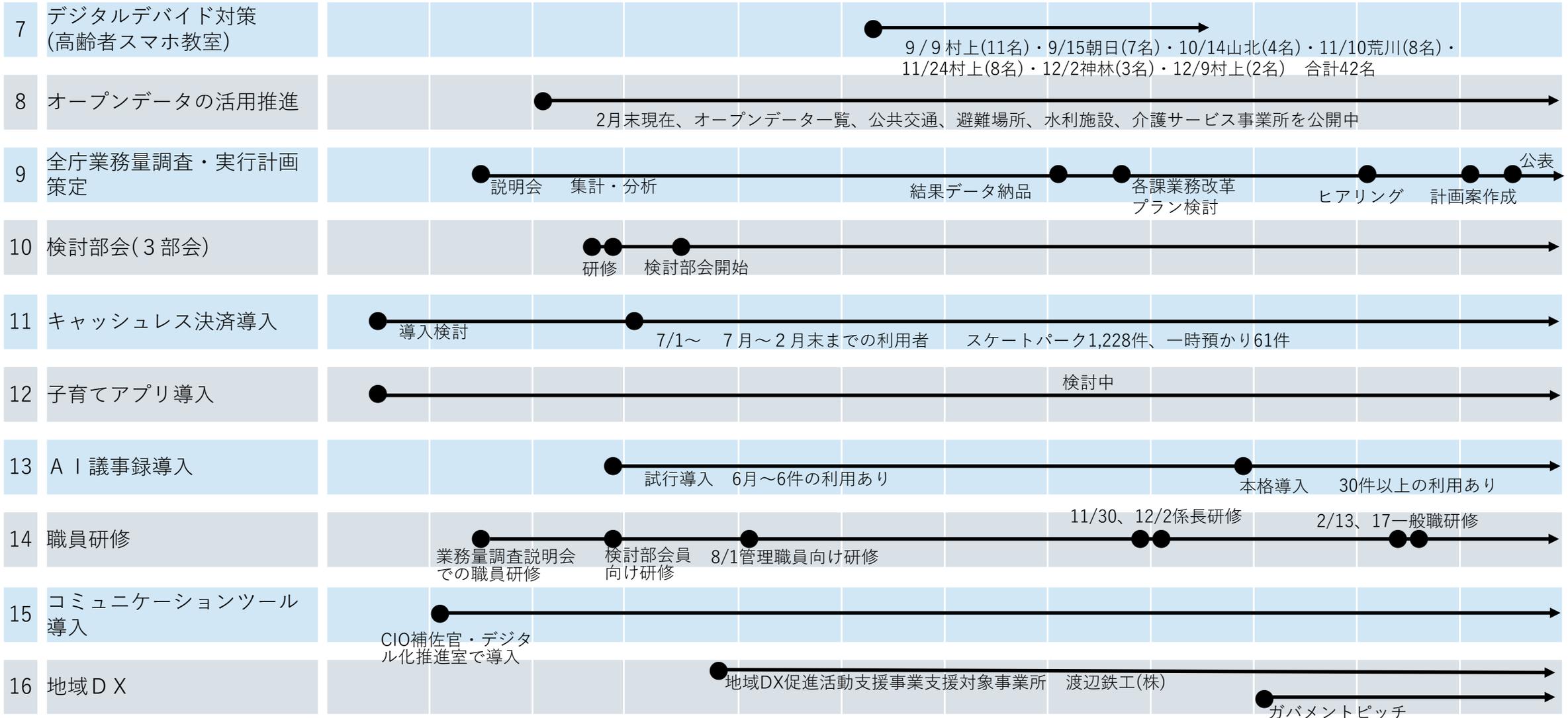
- ・デスクネットの「回覧機能」を使って共有できます。その他の方法がありましたらお知らせしていきます。

報告事項

(1)2022(R4)年度の取組状況報告



4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3



●2022(R4)年度職員研修実施状況

1 推進本部会議での研修

	実施日	形態	テーマ	対象	人数	備考
1	4月28日	講話	村上市が今後DXを進める上でのポイント	推進本部員	27	
2	8月1日	研修	事業を検討する際の重要な視点	推進本部員	27	
3	10月31日	講話	会議・コミュニケーションのDX	推進本部員	27	

2 職員研修

	実施日	形態	テーマ	対象	人数	備考
1	5月20日	研修	今後DXを進める上での業務量調査の意味	担当職員	60	うちZoom参加20人
2	8月1日	研修	事業を検討する際の重要な視点	課長補佐級職員	81	うちZoom参加45人
3	11月30日	研修	事業検討のやり方(事業を検討する際の重要な視点)	係長級職員	38	うちZoom参加18人
4	12月2日	研修	事業検討のやり方(事業を検討する際の重要な視点)		43	うちZoom参加29人
5	2月13日	研修	事業検討のやり方(事業を検討する際の重要な視点)	一般職員	120	うちZoom参加83人
6	2月17日	研修	事業検討のやり方(事業を検討する際の重要な視点)		92	うちZoom参加65人

3 その他研修

	実施日	形態	テーマ	対象	人数	備考
1	11月9日	研修	ファシリテーションのポイント	保育園長	14	
2	2月1日	研修	ファシリテーションのポイント	主任保育士	20	

■検討部会取組状況報告

①窓口サービス改革部会

提案1 紙をできる限り少なくする！

- ・村上市役所の業務の66.9%が紙を使用した作業であり、そのうち、特に紙の使用量が「極めて多い」または「多い」としている作業が23.2%となっている。
- ・「とりあえず印刷」をやめ、できる限りデータで完結させる。
- ・通知の内容、書き方を工夫し、送る紙を減らす、書く紙も減らす。



提案2 電子申請システムを導入し全職員が使う！

- ・行政手続で、できるものは全て電子申請に移行する。
- ・アンケートやイベント申し込みに活用の機会が多い。
- ・LG-WANで使えることが望ましい。
- ・各課で、どんなことに使えるかアイデア出しを行い、実践しながら横展開する。
- ・市民が市役所に来なくてもいい環境をつくる。
- ・デジタル化に伴い、リテラシー研修を行う。



提案3 窓口支援システムを導入する！

- ・1件あたりの窓口滞在時間を短くし、お待たせしない窓口に変革する。
- ・マイナンバーカード利用で書かない窓口に変革する。
- ・電子申請システムとの併用で、相乗効果が見込める。

提案4 LINEをフル活用する！

- ・LINEと電子申請システムの連携により、プッシュ通知から申請できれば便利



コスト削減
事務の効率化

②マイナンバーカード活用部会

あふれる笑顔 ～便利でお得なマイナンバーカード～

村上市マイナンバーカード交付率 2月末現在 64.9% (県60.5% 全国63.5%) ※総務省HPから

行政手続きで活用

書類の準備や提出が減り、行政事務処理もスムーズになり手続の時間が短縮され、住民の利便性の向上に繋がる。

提案1 オンライン申請で活用

- ・各証明書のコンビニ交付が2月15日～3月5日で285人が利用している（同期間窓口交付1,658人）。
 - ・コンビニ交付と共通する市役所に行かない、閉庁時でも申請可能なオンライン申請はニーズに合っている。
- 令和5年度10月に導入の電子申請システムで本人確認が必要な申請を積極的に整備する。

提案2 書かない窓口で活用

- ・申請書や施設の利用申込書を作成する負担をマイナンバーカードで軽減する。
- カードの読み取り機を施設に設置し、利用申込書をマイナンバーカードで作成するところからスタートする。

地域活性化で活用

ポイントや割引特典に活用することで、ボランティアなどの地域活動に関心を持つ方が多くなれば、活性化につながる。

提案1 料金割引

- ・「マイナでお得キャンペーン」で提示による施設割引を行ったが「持っているとお得」が浸透してきている。
- カードを取得によるメリットであるため、割引で取得率が上がり各種活用にカードを使ってもらおう。

提案2 自治体ポイント

ボランティアポイント、健康ポイントなどがマイナンバーカードで本人認証することで統一化され、ポイントの獲得や利用が便利になる。

議事

(1)村上市デジタルトランスフォーメーション(D X)推進方針【第2.0版】の公表

(2)村上市デジタルトランスフォーメーション(D X)自治体DX実行計画【第1.0版】の承認

修正等ある場合は、3月22日(水)までにデジタル化推進室に連絡してください。

今年度の総括

(1)米山CIO補佐官より

(2)Miroにて全員で今年度のふりかえり